

出会った全ての人に笑顔届け、 その場を明るくできる存在に

アルビレックスチアリーダーズ（以下、アルビチア）で活躍する燕市出身の増田唯花さんを紹介し、今年で5年目になる増田さんがアルビチアになった経緯や活動について伺いました。



ますだ ゆい か
増田 唯花さん(燕市在住)
●アルビレックスチアリーダーズ

「小学5年生のときに、家族の勧めでアルビチアのスクールに入ったんです。それがチアダンスを始めたくきっかけです。アルビチアの活動を近くで見ているうちに、憧れが大きくなり、高校卒業後にオーディションを受けました」

アルビチアになった1年目は覚えることが多く、ついていくだけで精一杯だったそうです。5年目に入った今は、後輩も増え、より一層、周りにも気を配らなければならぬ立場に。アルビチアとして大事にしていることを伺いました。

「お客様やボランティアの方、スタッフさんなど、出会った全ての人に、笑顔届けられるように。その場を明るくできるような存在でありたいと思っています」

平日は仕事をしているため、休日を中心に活動しています。ホームで開催され



▲スタジアムをダンスと笑顔で盛り上げる増田さん

るサッカー、バスケット、野球の試合のほか、イベントやボランティア活動に参加することも。ダンスの練習は、平日夜間や、試合がない休日にあるそうです。

「平日の仕事帰りに行く練習は、仲間に来てリフレッシュできる時間で、苦ではないです」

明るく、前向きに活動する増田さん。現在、アルビチアで課題としているPRにも力を入れています。

「アルビチアや私の活動をSNSで発信していますので、ぜひご覧ください。また、地元燕市のPRでお役に立てることがあれば、お力になれたらと思います」

増田さんは燕市の重点施策『子育てするなら燕市で』のポスター、ハンドブックなどのPR媒体のモデルとして登場します。そちらもぜひご覧ください。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



燕市では、今年度から「燕市スポーツ大使」を設置。その第一号に青山学院大学時代、箱根駅伝で2年連続区間賞を獲得するなど大活躍した岸本大紀選手を任命しました。

ニューイヤー駅伝など今後の活躍を通じて、市民に夢や感動を届けてもらうことを期待しています。

また、9月にBSN新潟放送アナウンサーの大塩綾子さんを燕市PR大使に任命しました。さらに今後は料理研究家の村山瑛子さんもPR大使に就任いただきます。

今年度は燕市PR大使10周年。各界で活躍する方々からふるさと燕のPRに協力していただきたいと思います。

◀こちらは有料広告です。

中継・県央エリア
ご利用世帯数
69,000
世帯

インターネット・ケーブルテレビ・電話

NCT

Wi-Fi
インターネット

アンテナ不要
ケーブルテレビ

通話料がオトク
固定電話

「お友達」と「ご紹介いただいたお客様」それぞれに

5,000円分商品券プレゼント!

※キャンペーンは予告なく変更・終了する場合がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話

0120-080-009

電話受付時間 **9:30~17:30** (ドコモ光タイプに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいページタブル・オイル・インクを使用しています。